

はじめに、茨城県常総市をはじめとする関東・東北地方における豪雨により亡くなられた方々の、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

紀伊山地の霊場と参詣道さんけいみちに代表される歴史的文化財に恵まれ、

日本最大の紀伊半島に位置し、雄大な海と山に囲まれた

ここ和歌山県において、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、

東日本大震災復興支援 第七十回国民体育大会を盛大に開催できますことは、誠に喜ばしい限りです。

国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、わが国最大のスポーツの祭典として、充実・発展を遂げてまいりました。

昭和四十六年以来、四十四年ぶり二回目の開催となる本大会は、

和歌山県の皆さんの心のこもった、魅力ある国体を目指し、

紀の国わかやま国体」の愛称のもと、準備に万全を尽くされた大会です。

全国から厳しい予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として参加された選手の間は、フェアプレー精神のもと、日頃鍛えた力と技を存分に発揮されるとともに、他県の選手団はもとより、和歌山県の皆さんとの交流の輪を広げられ、実り多い大会とされるよう切望いたします。

さらに、二〇二〇年東京オリンピック競技大会に向けて、本大会を通じて得た成果を基盤に、更なる飛躍につながることを期待いたします。

また、大会を通じて、多くの国民の皆様にはスポーツの価値、素晴らしさを改めて実感いただくとともに、参加した各都道府県選手団の活躍が、ふるさとの方々をはじめ、東日本大震災の被災地はもとより、全国各地に勇気と元気を与えることを強く願っています。

終わりに、大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力をいただきました地元和歌山県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から感謝申し上げます。ご挨拶いたします。